

第8期
八戸市高齢者
福祉計画

2021 >>> 2023



はじめに

わが国の高齢化は、今後さらに進展し、その状況は都市部と地方等、地域によって大きく異なっていくものと予想されております。

当市においても、令和2年（2020年）9月末現在30.8%であった高齢化率は、いわゆる団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる令和7年（2025年）には34.3%となり、高齢者人口が40歳から64歳までの第2号被保険者数を上回ると推計されております。その後も高齢化率の上昇は続き、団塊ジュニア世代が65歳以上の高齢者となり、高齢者人口がピークを迎える令和22年（2040年）頃には42.5%に達するなど、人口構造の大きな変化が見込まれております。

人口減少・少子高齢化の影響が一段と大きくなる中、高齢者を含むすべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、地域全体でお互いに支え合う仕組みづくりを進めていくとともに、高齢者が生きがいや役割を持ち、その知識と経験を生かし、地域の担い手として活躍の場を広げていくことが重要であります。

このようなことから、このたび、超高齢社会がますます進む2025年及び2040年を見据え、令和3年度（2021年度）からの3年間を計画期間とする「第8期八戸市高齢者福祉計画」を策定いたしました。

今後、この計画を基に、近年激甚化・多発化している災害や新型コロナウイルスを含めた感染症に備えた体制を構築するとともに、複雑化・多様化するニーズに対応した総合的な施策展開を進めてまいりたいと考えております。

結びに、高齢者福祉行政に対する市民の皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げますとともに、本計画の策定に当たり熱心に御審議をいただきました八戸市健康福祉審議会 介護・高齢福祉専門分科会委員の皆様、並びに関係各位に厚くお礼申し上げます。

令和3年2月

八戸市長 小林 眞

目 次

第1章 計画策定の趣旨	
1 計画の趣旨	1
2 計画の法的位置づけ	2
3 他の計画との関係	2
4 計画の期間と進捗状況の確認	3
第2章 八戸市の状況	
第1節 概況	
1 総人口の推移と推計	5
2 高齢者の状況	6
3 要介護（要支援）認定者の状況	8
4 主な介護者の状況	10
5 在宅サービス受給者1人あたり給付月額	12
第2節 日常生活圏域	
1 日常生活圏域とは	13
2 第8期計画における日常生活圏域	13
3 日常生活圏域の状況	14
第3章 計画の目指す姿と施策の体系	
1 目指す将来像	19
2 基本目標	19
3 施策の体系	20
第4章 施策の推進	
第1節 高齢者が生きがいをもち、地域の担い手となるための健康・生きがいづくりの推進	
1 健康づくりの推進	25
2 地域共生社会の実現に向けた取組の推進	28
3 自立支援、介護予防・重度化防止の推進	29
4 生きがいづくりの推進・社会参加の促進	32
第2節 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していくための地域包括ケアシステムの構築・深化	
1 地域包括支援センターの体制強化	34
2 在宅医療・介護連携の推進	36
3 認知症施策の推進	39
4 生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進	43
5 地域ケア会議の推進	45
6 高齢者の居住安定に係る施策との連携	47

第3節	介護が必要な人とその家族の生活全体を支える介護サービスの充実	
1	適正な介護サービス提供体制の整備	49
2	介護人材の確保と資質の向上	52
3	介護保険制度の適正な運営	55
第4節	すべての市民の人権が尊重され、地域全体で支え合うための安全・安心なくらしの確保	
1	地域見守り体制の充実	57
2	成年後見制度の利用促進	60
3	虐待防止の強化	64
4	在宅生活支援の充実	66
5	緊急時に備えた体制の整備	68
第5章	介護保険サービス給付費と介護保険料	
第1節	第7期計画期間の介護保険事業の運営状況	
1	高齢者人口の推移	71
2	要介護（要支援）認定者の推移	72
3	所得段階別第1号被保険者数	73
4	介護給付費・地域支援事業費の状況	74
第2節	第8期計画期間の見込み	
1	被保険者数・要介護（要支援）認定者数の見込み	76
2	介護保険給付サービスの見込み	77
3	介護予防・生活支援サービス事業の見込み	85
4	介護給付費・地域支援事業費の見込額	88
第3節	介護保険料	
1	費用負担の仕組み	91
2	第1号被保険者の保険料	94
	八戸市介護給付適正化計画	97
	資料編	109